

# 鶴岡ロータリークラブ会報

## 825

1975-10-14 No.16

鶴岡ロータリークラブ 創立 昭34.6.9 承認 昭34.6.27 353地区  
例会場 鶴岡市本町二丁目 ひさごや  
例会日 毎週火曜日 午後 12.30～1.30  
事務局 鶴岡市馬場町 鶴岡商工会議所内 電 0235(22)5775  
会長 佐藤 忠 幹事 吉野 勲

### ◆ 点 鐘

### ◆ ローターソング (奉仕の理想)

### ◆ ビジターゲスト紹介

### ◆ 会長報告

#### ◆ 10月13日 クラブ協議会を開催

各委員長より活動報告・計画発表があった。

委員長だけでなく全員の御協力を願います。

ガバナー高坂先生の御指導ありがとうございました。

#### ◆ 今週は青少年週間ですが、公式訪問のため来週に延期。

◆ 去る12日鶴工高のインターアクトクラブの認証状伝達式があり、高坂先生の御臨席を戴き整然と盛大に生徒自らの手で挙行された。御苦勞様でした。

◆ 去る10日高橋正太郎君より電話あり、元気な様子……皆さんによろしく。

### ◆ 幹事報告

#### ◆ 例会場変更

山形西RC 10月27日(月) 12.30—新県庁11F 第一会議室

#### ◆ 第366地区年次大会

ホスト 大阪東RC 昭和51.4.16～17 大阪フェスティバルホール

### ◆ 委員会報告 (親睦活動) 板垣 俊次 君

◆ ソフトボール 10月22日(水) 8.30～ 市営球場

雨天のとき バレーボール 8.30～ 第二体育館 登録料 5,000円

### ◆ ガバナー講話 (後述)

### ◆ 出席報告

### ◆ 点 鐘

TO DIGNIFY THE HUMAN BEING 人間に威信を!

## 高坂ガバナー講話

会長さん、皆さんからこうして私に時間を与えて下さいまして有難うございました。

昨日は委員長会議でおめにかかりましたが、おめにかからない方も沢山居られるようでございます。唯今御紹介にあづかりました高坂でございます。又、今朝程は墓参が出来まして有難う御座いました。御友情の程に厚く感謝申し上げます。先ずスマイル少し許りさせて頂きませぬ。(拍手)

昨日も申し上げましたように私はこちらの出身である許りでなく早坂ファストガバナーがいらしゃいます。当クラブを訪問致しますのを永いこと楽しみにして居ったのであります。早坂先輩はロータリーの最も偉大な指導者と考えて居ります。実は本人を前にしてお世辞を申し上げたりおべっかを使ったりするものではありません。これには私の考え、受けました感想があるのであります。それをお話し申し上げたいと思います。第352地区等その他連合地区大会があったのであります。家内共が何か社会に奉仕するものはないかと思ひチョコレートを入れた仙台の大会で並べたわけでありませぬ。それを買って頂いて利潤があがればそれを肢体不自由児に寄附しようという営みであったのであります。

それに介入したわけでありませぬが悪るい事でないから黙認して居りました。所がなにしろ女共のことで相当多数仕入れた様です。思った程売れた様です。利益もあがり、相当額の寄附も出来たようですが、尚沢山のチョコレートが余って家の中チョコレートだらけになった。山形でも販売も頼んだのですがまだ沢山残って非常に困った。家内は皆様のクラブの三井先生と御呢懇でしたので何かの機会に申し上げたようです。とに角鶴岡に運んだ。三井先生の奥さんはあるロータリアンに話して、またたく間に売れて了った。どなたかと思つてたらそれが早坂先輩で家内は非常に感謝して居ります。その当時私はお顔をはっきりしないが打てばひびくのに驚嘆して居りました。

ロータリアンというのは良いと思えば実行する。成功するかしないか、損するか得するかそんなことよりも直ぐ活動を開始する。我々の活動は実践の哲学と言われます。それを身を以て実践されたのが早坂先輩であります。私より二代前にガバナーに就任されて、直接我々を指導されることになったわけでありませぬ。私の受けた印象は痛切でありましてロータリアンというのはこういうのでなければいけないと感じて居るのであります。こういう立派なロータリアンが居られることは幸福だと思ひます。羨しく思つて居る所でありませぬ。昨日の会合でも伺いましたが皆様方のクラブは絶えず実行していらしゃる。これは立派なものだと私は思つて居ります。これがクラブのカラーであろうと深く感動したわけでありませぬ。さて鶴岡クラブは山形西クラブと殆んど誕生を同じくして居ります。

当時私幹事として御宅のクラブの創立総会に出席させて頂いた、そんなわけでこうやってお話申し上げることは皆様方にはなんにも参考にならないと思ひます。又人生経験といい大同小異。むしろ私は経験不足でありまして厚くお話し申し上げるのは、気がひけるのであります。これもガバナーに与えられた任務の一つでございます。昨日の会議、今日の例会訪問。これがワンステップとなつて居りますが、やらにゃいかんとそこで感銘を受けるような良い話をせにゃいかんと思つて居るわけでありませぬ。でも今申し上げたようなわけで、とても皆様になんか話せる出来ないのであります。

今申し上げたように皆様方の経験と私の経験とは殆んど同じで御座いますので今迄過して来た約19年のロータリー生活の経過について或は違うこともあるかも知れませぬが、少し許りお話ししてみたいと思ひます。

申し上げましたように19年程なりますが、大体自分で振り返つてみますと非常に波があったようでありませぬ。三つの波がありました。

先ず始めの4、5年の間は私非常にロータリーに共鳴し感激し自分でもかなりやったという感じがあったのであります。何故そう感激したかはやはりロータリーの組織の功みさ……どこのクラブでも申し上げたのですが、私医者なんですから片よった経験しかもてなかつた。相手

になるのは殆んど患者、それから友達というのは医師会の医師の仲間であります。そうすると結局話の内容は限定されて自分ではそういう積りでないとしても、いつの間にか片輪な人間になって居たのであります。早坂先輩がよく“わしゃ医者には嫌いだよ”といわれましたが私は生意気な所が御座いまして……これは私のことであります(笑声)話してみると幼稚な人生経験しかもって居りません。それが嫌われたと思いますが、ロータリーには色んな方がいらっしやいます。学歴等は問題ではありません。私は小学校の劣等生だよといわれても話してみると非常に味わい深い人生経験をもって居られる。

外ではとても考えつかないような尊い人生哲学をもっていらっしやる。色々話することにより自分の片輪であったことがよくわかります。そういう時代が約5年程つづきました。一番うれしかった時代であります。

次に6年目7年目になるとロータリーに疑問をもって来るようになりました。

今も御健在ですが青森の齋藤フェストガバナー、そのガバナーに手紙を出して私御相談申し上げたことがございます。何を一番悩んだかと申しますと、その頃私共のクラブ自身がマンネリ化し、きれいごとを色々言いますけれど実際にロータリーの活動力がなんか衰えている。これでいいのかと思うそれであちらこちら眺めると似たりよったりだ。どうもロータリーはきれいごとのうわすべりでないだろうか。外国のロータリーはどうだろうか。東京クラブはどうだろうか、きいてみると東京クラブは何か偉い人許りで何等活動はしない。

これだとロータリーはきれいごと許りだと悩みがわいたのであります。

余程やめようかと思ったがそれかといってぬるま湯から出たら風邪ひく様な気がしてロータリーやめる気にもならない。ずるずる過ぎた。そういう時代が4、5年つづいたのです。でやっている間にいつの間にか安定した気になって来た。それが最後の4、5年です。

どういっわけで安定したかといえますとやはりロータリー仲間、会員が再確認できたということです。

最初感激したのは珍らしさからでしたが、それが10年も立ちますと単なる珍らしさとか、職場が違ってるからでなくいわず語らずのうちに尊敬出来る人が沢山表われたのであります。友情の再確認と申しますが、それが結局ロータリーの真髄ではないでしょうか。ロータリーでは親睦といえます。友情の輪を広げようといえます。それが混迷の時代はお経だけ唱えてきれいごとだけじゃないかと疑問をもったのですけれども過ぎてみると10年の間の友情が強固なものであることと再確認したのであります。それが非常に私感激でございました。又友情の確認をどうしてしたか、事例を申し上げますと長くなりますし、くどくどしくなりますので申し上げますが、精神的にも経済的にも私うんと助けられました。

困った時に友達というものはこういうものかと改めて10年位もたつてわかったのであります。そんな事でこの度ガバナーを命じられて国際協議会に参加しましたけれども何んとかしてロータリーの源流を尋ねてみたい、御存知の様にポール・ハリスがシカゴで3人の友達と会って話し合い友情の有難さがどういっ所で生れたか検討した所、違った人が4人集まった所から始まったといわれますのでその所を訪れてみたい。それでそのビルを訪れたのであります。そこ皆様方御存知のようにデボン街にあるユニティビルという一室で最初に集まったという所ですぐわかりました。

ピカソの彫刻が飾ってあります。どういう意味を表わすのか、女性の顔だという人も居ります。大きな鉄製の彫刻があります。有名な所ですから直ぐわかります。当時は立派なビルだったのでしょうが今はその周囲に沢山の白亜のビルがたちましてボツリとはさまれた様に黒ずんで立って居りました。そこの入口にレリーフがたつてありました。ここがポール・ハリスのロータリークラブであると書いてありました。感慨深く眺めていました。その前のベンチに坐って回想にふけていたらポイント肩を叩くものが居る。みたら一人の米人でした。君はロータリアンかパッチで直ぐにロータリアンを確かめあって実は私は日本に行ったことがあるんで日本は非常に懐い所だ。そこで暫く話して居りました。始めてみる人だったが忽ち友情がわくのですね。

片言の英語で10分間も話したでしょうか。之もロータリアンの嬉しさ。とにかく始めて会った人でも直ちに意気投合する有難さをつくづく味わったのであります。結局ロータリー仲間の友情というもの。之は私としては単なる仲良しの友達というのではなくて我々は皆職業人です。そこに友情があるわけですが、高校生や中学生の友情と違って信頼がなければ出来ないような例えば経済的な結び合いや関係にもなるわけですが、それが現在信頼に裏づけられた人がクラブの中に沢山居ることが何といっても嬉しい。世界中の友が今申しました様にポント肩を叩いただけで本当に仲良しになる。これが有難いことです。これがハリスが狙った原点でないかと感じたのであります。インバッサイ会長は今年度あのようなターゲットを掲げて居ります。結局こういう組織を作るのは人間である。組織にふり廻される人間になってはいけない。人間が立派になって立派な組織を作るんだと国際会議でも反覆しておっしゃったのであります。

あのハリスの言葉、我々の理想は星に車をつなぐ様なものだ。今でこそ月に行けるが当時は考えもつかなかったことでしょう。

そのように難かしい理想に向かっているのだという事を述べて居ます。インバッサイ会長は例の水平線の話……行けども行けども水平線は去って行く掴もうと思っても掴めない而し我々は水平線に向って前進するんだその水平線の彼方にあるものが我々の理想ではないだろうか、手では掴めないが歩んできた道をふりかえてみるとそこには立派な道がついているんだと、皆さん勇気をもってこのロータリーを信じ邁進しようじゃないかという事を何回も申されたのであります。私も非常にこれに感激して申し上げたり書いたりしていますが、結局我々人間が立派にならなければロータリーも立派にならない。昨日のアssenブリで申し上げました様に職業奉仕、社会奉仕というものがありますが、全部個人のものであります。個人教材であります。結局私が掴んだロータリーは名文句、名言がありますが我々が我々自身を訓練して我々の品性を高める。そして世の中が明るくなる。それがロータリーの目的でないか。私はまだまだ足りないものです。

而し線香の先の光がついたとすればそれだけ満足です。それが将来もう少し輝くかも知れませんが。皆様方大きな光をもって居られるでしょう。一人、二人と将来大きな光となるでしょう。それがロータリーの考え方でありまして。迂遠な廻りくどい考え方ですが現在のロータリーの考え方でありまして。我々のロータリーを信じて邁進して頂きたい。これが私の願いであります。(拍手)

## スマイル 早坂徳治君 商工会議所主催釣大会入賞

出席報告			
本日の出席	会員数	71名	欠席者 阿部(襄君、飯白君、五十嵐(三)君、五十嵐(伊)君、玉城君、風間君、黒谷君、小松君、三浦君、中野(重)君、石川君、中野(清)君、斎藤(栄)君、藪田君、斎藤(信)君、笹原君、進藤君、高橋(正)君、高橋(良)君、横山君、佐藤(宇)君、津田君、上野君
	出席数	48名	
	出席率	67.61%	
前回の出席	前回出席率	74.65%	マークアップ 玉城君—東京小金井RC 笹原君—仙台RC 藪田君—気仙沼RC 阿部(襄)君—酒田RC 山本君—勝山RC 中江君、佐藤(衛)君、菅原(啓)君、山口君—山形西RC 半田君、菅原(辰)君、手塚君—鶴岡西RC
	修正出席数	65名	
	確定出席率	91.55%	
ビジター	池田好雄君—立川RC 奥村知介—習志野RC 村上保雄君、菅原次郎君—八幡RC 羽根田正吉君、上野十九治君、半田茂弥君、土井秀夫君—鶴岡西RC		